

I 展示活動

1 企画展

佐藤美術館コレクション 花鳥風月—四季によせる想い

- 会期 平成24年4月14日（土）～5月27日（日）
- 主催等 主催：茨城県天心記念五浦美術館
協力：公益財団法人佐藤国際文化育英財団・佐藤美術館
企画協力：NHKサービスセンター
後援：NHK水戸放送局
- ポスター B2, B3
- チラシ A4
- リーフレット A4 8頁
- 入場者数 13,971人
- 観覧料 一般600(500)円／高大生400(300)円
小中生200(150)円
※()内は20名以上の団体料金
- 出品点数 日本画66点
- 内容解説

日本画に恵まれた緑豊かな自然、そして四季折々の草花に囲まれ変化に富んだ情景は、「花鳥風月」という言葉で知られるように、日本の文化・伝統、そして日本人の自然観や人生観を培ってきた。現代の日本画においても、この「花鳥風月」は主要なテーマであり、数々の花鳥画、風景画が描かれている。それぞれの画家の眼と心を通して表現された草花や自然の姿は、まさに日本人の心象を象徴したものである。

平成2年(1990)大阪で開催された「国際・花と緑の博覧会」いわゆる「花博」において、東山魁夷や小倉遊亀、加山又造など日本を代表する画家50人による「花と緑の日本画展」が大きな話題となった。本展覧会はその出品作品を所蔵する佐藤美術館の協力のもと、昭和の日本画壇の中心となって活躍した画家をはじめ、平成になってその活躍を期待される俊英たちによる花鳥画・風景画を通して、時代によって変わることなく私たちの心を捉え続ける「花鳥風

月」の世界を紹介した。

震災で延期になっていた企画で一年越しに実現の運びとなった。一美術館のコレクション展であったが、花鳥風月という日本人に親しみのあるテーマで統一されており、著名な作家から現代の若手までの50号から100号中心の充実した作品を展示でき、好評をいただいた。広報チラシの裏面はワンポイント解説をつけるなど、多くの方が親しみを持って読んでいただけるよう工夫を凝らしたほか、展示解説用（主要作品図版付）のリーフレットを作成した。

- 担当 中田智則(主任学芸員)
- 関連事業
学芸員によるギャラリートーク
担当 中田智則(主任学芸員)
日時 4月21日(土)午後1時30分～2時30分
5月13日(日)午後1時30分～2時30分
会場 展示室A・B・C

- 関連記事
・四季によせる想い「花鳥風月」～佐藤美術館コレクション
4月13日【毎日新聞】
・佐藤美術館の収蔵品展示
4月13日【桐生タイムス】
・美しき花鳥風月の世界(三次豪)
4月14日【茨城新聞】
・四季によせる想い 花鳥風月
4月16日【両毛新聞】
・企画展「花鳥風月～四季によせる想い」多彩な春爛漫楽しんで(臼井真)
4月19日【毎日新聞】
・輝く“生命の讃歌”五浦美術館「花鳥風月」展(三次豪)
4月19日【茨城新聞】
・五浦美術館「花鳥風月」展
4月23日【読売新聞】



リーフレット A4



ポスター B2



ポスター B3



チラシ A4

- ・花鳥風月 踊る絵筆 五浦美術館で日本画展
5月2日【朝日新聞】
- ・花鳥風月〈1〉 勇気あたえる「先達」 片岡球子「富士に献花」(中田智則)
5月16日【茨城新聞】
- ・花鳥風月〈2〉 四季巡り生命つなぐ 堀文子「流れゆく山の季節」(中田智則)
5月17日【茨城新聞】
- ・花鳥風月〈3〉 写実的で装飾性豊か 中島千波「御車返の桜」(中田智則)
5月18日【茨城新聞】
- ・花鳥風月〈4〉 伸びやかな雑草線描 田渕俊夫「緑詩」(中田智則)
5月20日【茨城新聞】
- ・花鳥風月〈5〉 光と影、一瞬の美表現 坂本愛子「風」(中田智則)
5月21日【茨城新聞】
- ・県民の声
6月16日【茨城新聞】

● 出品作品一覧

国際花と緑の博覧会出品作品を中心に(53点)

No.	作家名	生没年	作品名	制作年	材質・技法・形状	寸法(cm)	出品展
1	小倉遊亀	明治28～平成12	紅梅と古鉢	平成2年	紙本・彩色・額装	37.5×45.0	国際花と緑の博覧会
2	上村松篁	明治35～平成13	桃春	平成2年	紙本・彩色・額装	63.0×90.0	国際花と緑の博覧会
3	岩橋英遠	明治36～平成11	冬去る	平成元年	紙本・彩色・額装	59.6×79.6	国際花と緑の博覧会
4	三谷十糸子	明治37～平成4	山の花	平成2年	紙本・彩色・額装	160.5×129.0	国際花と緑の博覧会
5	片岡球子	明治38～平成20	富士に献花	平成2年	紙本・彩色・額装	115.0×72.0	国際花と緑の博覧会
6	吉岡堅二	明治39～平成2	ほととぎす	平成2年	紙本・彩色・額装	75.0×75.0	国際花と緑の博覧会
7	東山魁夷	明治41～平成11	麗春	平成2年	紙本・彩色・額装	64.0×91.0	国際花と緑の博覧会
8	秋野不矩	明治41～平成13	讚華	平成2年	紙本・彩色・額装	161.0×111.0	国際花と緑の博覧会
9	荘司 福	明治43～平成14	山霧	平成2年	紙本・彩色・額装	96.0×129.0	国際花と緑の博覧会
10	浦田正夫	明治43～平成5	新緑尾瀬	平成2年	紙本・彩色・額装	115.0×145.5	国際花と緑の博覧会
11	塩出英雄	明治45～平成13	高原新緑	平成2年	紙本・彩色・額装	128.5×161.0	国際花と緑の博覧会
12	奥田元宋	明治45～平成15	吉野細雨	平成2年	絹本・彩色・額装	99.5×116.0	国際花と緑の博覧会
13	高山辰雄	明治45～平成19	椿	平成2年	絹本・彩色・額装	86.5×115.5	国際花と緑の博覧会
14	吉田善彦	大正元～平成13	萩の径	平成2年	紙本・彩色・額装	90.0×115.8	国際花と緑の博覧会
15	守屋多々志	大正元～平成15	紫式部	平成2年	紙本・彩色・額装	96.0×139.5	国際花と緑の博覧会
16	佐藤太清	大正2～平成16	薔薇	平成2年	紙本・彩色・額装	90.0×116.2	国際花と緑の博覧会
17	郷倉和子	大正3～	春律	平成2年	紙本・彩色・額装	96.5×129.7	国際花と緑の博覧会
18	今野忠一	大正4～平成18	浅間	平成2年	紙本・彩色・額装	95.0×144.0	国際花と緑の博覧会
19	工藤甲人	大正4～平成23	花中安居	平成2年	紙本・彩色・額装	115.0×161.5	国際花と緑の博覧会
20	加藤東一	大正5～平成8	夜の花	平成2年	紙本・彩色・額装	88.0×129.0	国際花と緑の博覧会
21	森田曠平	大正5～平成6	くろ髪(祇園豆らく)	平成2年	紙本・彩色・額装	116.5×61.5	国際花と緑の博覧会

No.	作家名	生没年	作品名	制作年	材質・技法・形状	寸法(cm)	出品展
22	堀 文子	大正7～	流れ行く山の季節	平成2年	紙本・彩色・額装	161.5×129.7	国際花と緑の博覧会
23	鈴木竹柏	大正7～	清晨	平成2年	紙本・彩色・額装	111.0×161.0	国際花と緑の博覧会
24	関 主税	大正8～平成12	安房の春	平成2年	紙本・彩色・額装	111.0×161.5	国際花と緑の博覧会
25	加倉井和夫	大正8～平成7	松韻	平成2年	紙本・彩色・額装	111.5×161.5	国際花と緑の博覧会
26	稗田一穂	大正9～	残照	平成2年	紙本・彩色・額装	128.5×161.0	国際花と緑の博覧会
27	石本 正	大正9～	遊花	平成2年	紙本・彩色・額装	144.5×118.0	国際花と緑の博覧会
28	福王寺法林	大正9～平成24	ヒマラヤの花	平成2年	紙本・彩色・額装	129.0×161.0	国際花と緑の博覧会
29	大野俣嵩	大正11～平成14	燦迦羅華	平成2年	紙本・彩色・額装	95.2×78.8	国際花と緑の博覧会
30	大山忠作	大正11～平成21	游	平成2年	紙本・彩色・額装	80.0×115.5	国際花と緑の博覧会
31	堂本元次	大正12～平成22	桜花水に映ゆ	平成2年	紙本・彩色・額装	161.0×111.0	国際花と緑の博覧会
32	平川敏夫	大正13～平成18	仙境楓韻	平成2年	紙本・彩色・額装	128.5×161	国際花と緑の博覧会
33	近藤弘明	大正13～	長興山霊櫻	平成2年	紙本・彩色・額装	167.0×164.8	国際花と緑の博覧会
34	小泉淳作	大正13～平成24	春を待つ山	平成2年	紙本・彩色・額装	111.5×205.5	国際花と緑の博覧会
35	川崎鈴彦	大正14～	島春静か	平成2年	紙本・彩色・額装	128.5×161.0	国際花と緑の博覧会
36	松尾敏男	大正15～	春苑	平成2年	紙本・彩色・額装	111.0×161.0	国際花と緑の博覧会
37	上野泰郎	大正15～平成17	地にみつるもの	平成2年	絹本・彩色・額装	131.0×180.0	国際花と緑の博覧会
38	加山又造	昭和2～平成16	夜櫻	平成2年	絹本・彩色・額装	72.0×90.0	国際花と緑の博覧会
39	岩澤重夫	昭和2～平成21	瀧聲花信	平成2年	紙本・彩色・額装	111.0×161.0	国際花と緑の博覧会
40	後藤純男	昭和5～	古刹麗春	平成2年	紙本・彩色・額装	111.0×161.0	国際花と緑の博覧会
41	岡 信孝	昭和7～	四季の花籠	平成2年	紙本・彩色・額装	96.0×144.5	国際花と緑の博覧会
42	上村淳之	昭和8～	池	平成2年	紙本・彩色・額装	126.0×158.0	国際花と緑の博覧会
43	牧 進	昭和11～	浅き春	平成2年	紙本・彩色・額装	160.5×129.0	国際花と緑の博覧会
44	福井爽人	昭和12～	雨後	平成2年	紙本・彩色・額装	111.5×161.3	国際花と緑の博覧会
45	伊藤 彬	昭和15～	花心	平成2年	紙本・彩色・額装	160.5×129.0	国際花と緑の博覧会
46	田淵俊夫	昭和16～	緑詩	平成2年	紙本・彩色・額装	160.3×128.7	国際花と緑の博覧会
47	竹内浩一	昭和16～	野の露	平成2年	紙本・彩色・額装	161.0×129.5	国際花と緑の博覧会
48	平松礼二	昭和16～	路一金色の海へ歩こう	平成4年	紙本・彩色・額装	165×170	
49	松本哲男	昭和18～	麗	平成2年	紙本・彩色・額装	111.5×161.5	国際花と緑の博覧会
50	中島千波	昭和20～	御車返の桜	平成2年	紙本・彩色・額装	111.5×161.5	国際花と緑の博覧会
51	畠中光亨	昭和22～	捧華	平成2年	紙本・彩色・額装	178.8×108.7	国際花と緑の博覧会
52	大野俊明	昭和23～	春の刻	平成3年	麻紙・金箔、岩絵具、水干絵具、墨	162.0×194.0(2点組)	第8回横の会展
53	大野俊明	昭和23～	夏の刻	平成3年	麻紙・金箔、岩絵具、水干絵具、墨	162.0×194.0(2点組)	第8回横の会展

平成の俊英たち(13点)

No.	作家名	生没年	作品名	制作年	材質・技法・形状	寸法(cm)	出品展
54	森山知己	昭和33～	雪	平成5年	絹本・彩色・額装	97.0×145.5	第9回蒼粒展
55	マコト・フジムラ	昭和35～	Water Tree	平成8年	紙本・彩色・額装	177.5×91.5	マコトフジムラ展(佐藤美術館)
56	平子真理	昭和37～	天の川	平成5年	紙本・彩色・額装	97.0×162.1	平子真理展(古心堂画廊)
57	荒井 経	昭和42～	景色 2006.9.18 8:34	平成18年	紙本・彩色・額装	130.0×194.0	個展(佐藤美術館)
58	中村寿生	昭和44～	wind	平成13年	紙本・彩色・額装	182.0×133.0×6.5	佐藤国際文化育英財団10周年記念展
59	千々岩 修	昭和46～	空	平成8年	紙本・着彩・額装	130.3×162.0	佐藤国際文化育英財団第5回奨学生美術展
60	吉賀あさみ	昭和47～	Pond-in late autumn	平成21年	ミクストメディア (墨・カラーインク・天然顔料・膠・テロン布地・綿布・木材)	各 119.3×84.3×15.0	佐藤国際文化育英財団第18回奨学生美術展
61	藤井聡子	昭和49～	映翠	平成12年	紙本・彩色・額装	91.0×116.7	聿の会(銀座松坂屋)
62	奥村美佳	昭和49～	めぐる	平成15年	紙本・彩色・額装	194.0×180.0	第29回春季創画展
63	神戸智行	昭和50～	彩雨	平成11年	紙本・彩色・額装	117.0×116.5	
64	高島圭史	昭和51～	そらのかよひぢ	平成17年	紙本・彩色・額装	111.5×194.0	佐藤国際文化育英財団第14回奨学生美術展
65	坂本藍子	昭和52～	風	平成21年 (平成23年加筆)	紙本・着彩・額装	116.0×182.0	個展(佐藤美術館)
66	川又 聡	昭和53～	風天	平成21年	紙本・彩色・額装	105.0×156.0	佐藤国際文化育英財団第18回奨学生美術展

〈震災復興支援展覧会〉 生誕 110 周年記念 ウォルト・ディズニー展

- 会期 平成24年8月18日(土)～10月8日(月・祝)
- 主催等 主催：ウォルト・ディズニー展実行委員会 (NHKプロモーション、ウォルト・ディズニー・ジャパン)
茨城県天心記念五浦美術館 北茨城市
後援：NHK水戸放送局
協賛：株式会社 常陽銀行
- ポスター B2, B3
- チラシ A4
- 図録 278×210mm 80頁
編集：白泉社MOE編集部
発行：NHKプロモーション
- 入場者数 80,333人 ※来場者108,729人
- 観覧料 一般700(600)円／高大生500(400)円
小中生300(200)円
※()内は20名以上の団体料金
- 出品点数 約700点
- 内容解説

平成23年3月11日に起こった東日本大震災による被害、さらには福島原発の影響による風評被害から県民は一丸となり復興に取り組んできた。特に北茨城市は県内最大規模の被災地であり、今回は被災された県民の心の復興と地域の振興を図るため、ミッキーマウスなどの人気キャラクターを世に送り出して知られるウォルト・ディズニー(1901-1966)の生涯と芸術を通し、幾度の挫折を乗り越え、独自の世界を創造し続けたウォルトのポジティブな生き方を通して震災復興を目指す県民に勇気と希望のメッセージを届けた。展覧会では米国ディズニー本社のアーカイブやディズニー家の協力を得て、「ミッキーマウス」「白雪姫」をはじめとするクラシック作品(セル画、コンセプトスケッチ等)や彼の夢を託したテーマパーク、実験未来都市構想などを貴重な展示資料によって紹介した。

このように、震災復興支援展覧会として北茨城市と共催して実施し、会期中無休とし、金・土曜日は夜8時まで開館した。会期中はファミリーを中心とする幅広い年齢層を対象にドローイングレッスンやコンサートをはじめ多彩なイベント、アトラクションを実施し、11,648人(館内)が参加した。また美術館敷地外においては土・日毎に北茨城市主催の事業に協力し、美術館広場で各種イベントも行った。このほか県庁内部局の横断的なプロジェクト(元氣いばらき推進PT会議)による広報強化、さらには常陽銀行、ディズニー・ジャパン等民間会社の事業協賛、協力を得、展覧会の充実に供することができた。

●担当 大平 剛(主任学芸主事)

●関連事業

ウォルト・ディズニー展開催記念プレゼント(生誕110周年記念限定オリジナルグッズ・クリアファイル)

日時 8月18日(土)～27日(月)、および会期中の

土・日・祝日 各日先着110名

みんなでミッキーマウスを描こう！ ディズニー社公認アーティストによる特別ドローイングレッスン

日時 8月25日(土)①午前11時～②午後3時～

ディズニー絵本のおはなし会

日時 8月23日(木)、8月30日(木)、9月8日(土)、

9月15日(土)各日とも午前11時～、午後2時～

協力 おはなし会ぼっぼ、読み聞かせグループ「たんぼぼ」、高萩読みきかせグループ、常陸太田図書館友の会

親子ワークショップ「世界で1つだけのディズニーのストラップを作ろう」

日時 8月26日(日)、9月9日(日)、9月16日(日)、

9月23日(日)、9月29日(土)(9月29日のみ1日2回)

各日とも午前10時30分～、11時30分～

午後1時30分～、2時30分～

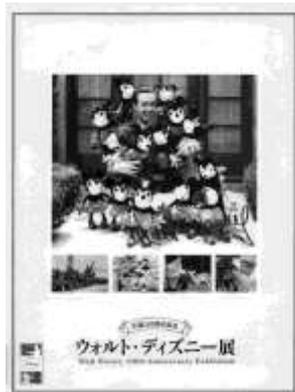
スティッチを探せ！(クイズラリー)

日時 9月14日(金)～10月8日(日)

心を元気にするディズニー楽曲コンサート

日時 9月22日(土・祝)①午前11時～②午後3時～

演奏 茨城県警音楽隊



図録



ポスター B2



ポスター B3



チラシ A4

ディズニー長編アニメーション作品上映会
 日時 8月19日(日), 26日(日), 9月2日(日), 30日(日),
 10月7日(日) 各日とも午後2時～

講演会

「ディズニーの理念 ―すべては夢見ることから始まる」

日時 10月8日(月・祝)午後2時～

講師 井原多美(ウォルト・ディズニー・ジャパン株式会社
 マーケティング・ディレクター)

●関連記事

- ・街をディズニーマーに色に
6月20日【茨城新聞】
- ・ウォルト・ディズニー展
8月2日【読売タウンニュース】
- ・夢創造した生涯紹介 18日開幕 勇気と希望メッセージ(沢畑浩二)
8月4日【茨城新聞】
- ・記者手帳 県民に希望と勇気届けたい
8月10日【茨城新聞】
- ・天心記念五浦美術館「生誕110周年記念 ウォルト・ディズニー展」開催!
8月10日【観光いばらきかわら版 Vol. 30】
- ・ディズニーの夢と苦難 「被災者にも勇気と希望」生誕110周年回顧展
8月15日【朝日新聞】
- ・夢と魔法の国いざなう 五浦美術 ディズニー展開幕(小室雅一)
8月19日【茨城新聞】
- ・復興後押し ミッキーたち集合 北茨城「ディズニーマー展」
8月20日【読売新聞】
- ・記者手帳
8月21日【茨城新聞】

- ・生誕110周年、生涯と芸術紹介 ウォルト・ディズニー展(臼井真)
8月24日【毎日新聞】
- ・「ディズニー展」の入館者1万人突破
8月26日【読売新聞】
- ・ディズニー展の1万人目
8月26日【朝日新聞】
- ・いばらき春秋
8月28日【茨城新聞】
- ・夢求めた不屈の生涯 写真やセル画、資料700点
8月30日【茨城新聞】
- ・特集「ウォルト・ディズニーの魔法のことば」
8月31日【日々の新聞】
- ・生誕110周年 ウォルト・ディズニー展
9月5日【両毛新聞】
- ・県民の声 ディズニー展夢の世界満喫
9月9日【茨城新聞】
- ・ストラップ作りに挑戦 ディズニー展開催を記念 五浦美術館 親子40組参加
9月12日【茨城新聞】
- ・ミッキーを上手に描けるかな
9月12日【週間茨城朝日 第1498号】
- ・ディズニー展 6万人を突破(小室雅一)
9月24日【茨城新聞】
- ・ディズニー展が来場9万人達成(臼井真)
10月8日【毎日新聞】
- ・ディズニー展入館者 目標の10万人達成
10月11日【茨城新聞】
- ・県民の声 ディズニー展 うれしい盛会
10月11日【茨城新聞】

●関連放送

- ・とれたてワイドいばらき
8月24日【NHK水戸】

生誕110年記念 上村松篁展

- 会期** 平成24年10月13日(土)～11月25日(日)
- 主催等** 主催：茨城県天心記念五浦美術館
協力：公益財団法人 松伯美術館
後援：NHK水戸放送局
企画協力 アート・ベンチャー・オフィス ショウ
- ポスター** B2, B3
- チラシ** A4
- 図録** 280×225mm 115頁
編集・発行 アート・ベンチャー・オフィス ショウ
- 入場者数** 18,411人
- 観覧料** 一般600(500)円／高大生400(300)円
小中生200(150)円
※()内は20名以上の団体料金
※11月13日(火)は県民の日のため無料
- 出品点数** 日本画61点 スケッチ8点
- 内容解説**

近代花鳥画の第一人者である上村松篁は、明治35年(1902)に上村松園の長男として生まれた。幼少から動植物や絵を好んだ松篁は、京都市立美術工芸学校、京都市立絵画専門学校に学び、大正10年(1921)に「閑庭迎秋」で帝展初入選を果たした。その後も昭和3年(1928)に26歳の若さで帝展の特選に輝くなど官展を舞台に活躍するが、日本画滅亡論が叫ばれていた昭和23年(1948)、世界性に立脚する日本絵画の創造を目指して日展を離脱、山本丘人、秋野不矩らと共に創造美術を結成し、透徹した自然観察をもとにした現代感覚あふれる花鳥画に新境地を拓き、昭和58年(1983)に文化功労者となり、翌年には文化勲章を受章した。本展は、松篁生誕110年を記念して、初期から晩年までの花鳥画の代表作を中心に、これまで紹介されることの少なかった歴史風俗画なども展示し、その芸術の全容と魅力に迫る回顧展となった。

当館では平成16年に「上村松園・松篁・淳之展」を開催しているが、前回展からのリピート客が複数来館するなど、前回の満足度が今回の来館者に結びついただけと思われる。さらに上村淳之展開催を要望する声もあがっていることから、今後花鳥画表現を扱った企画への期待度の高さがうかがえた。展示内容については、作家の各時代を代表する作品の出品が実現し、特に大作「万葉の春」及び「燦雨」を揃って出品できたことによって、画家の芸術の魅力に来館者に広く伝えることができた。

●**担当** 稲葉睦子(主任学芸員)

●**関連事業**

美術講演会「父、松篁とその芸術を語る」

講師 上村淳之氏(日本画家)

日時 10月13日(土)午前10時30分～

学芸員によるギャラリートーク

担当 稲葉睦子(主任学芸員)

日時 10月27日(土)午後1時30分～午後2時30分

11月10日(土)午後1時30分～午後2時30分

講演とコンサートの夕べ「岡倉天心が聴いた西洋音楽」

講師 清水恵美子氏(茨城大学非常勤講師・茨城大学五浦美術文化研究所客員所員)

演奏 イ・ソリスト・イバラキ室内合奏団

日時 10月20日(土)午後5時～6時30分

●**関連記事**

- ・花鳥画、そして日本画を新生させた松篁の画業の全てを

8月20日【月刊美術9月号(444号)】

- ・花鳥画の大家、上村松篁の代表作が一堂に

9月20日【月刊美術10月号(445号)】

- ・生誕110年記念 上村松篁展

10月10日【両毛新聞】

- ・静かな余韻と品格 上村松篁展が開幕(三次豪)

10月14日【茨城新聞】

- ・松篁の画業に迫る 生誕110年記念の展示

10月26日【朝日新聞】

- ・美博ピックアップ 上村松篁展(青天目恭子)

10月31日【朝日新聞(夕刊)】



図録



ポスター B2



ポスター B3
119



チラシ A4

- ・自然を見つめて 上村松篁展から①
「月夜」 想像かき立てる青 (稲葉睦子)
11月14日【茨城新聞】
 - ・上村松篁展生誕110年記念 北茨城で企画展 (臼井真)
11月15日【毎日新聞】
 - ・自然を見つめて 上村松篁展から②
「青柿」 雨でみずみずしく (稲葉睦子)
11月15日【茨城新聞】
 - ・自然を見つめて 上村松篁展から③
「燦雨」 南国への憧れ描く (稲葉睦子)
11月16日【茨城新聞】
 - ・自然を見つめて 上村松篁展から④
「丹頂(一对)」 格調高い鶴図完成 (稲葉睦子)
11月18日【茨城新聞】
 - ・自然を見つめて 上村松篁展から⑤
「春愁」 心に清らかな余韻 (稲葉睦子)
11月19日【茨城新聞】
- 関連放送
・日曜美術館アートシーン
10月28日【NHK Eテレ】

● 出品作品一覧

No.	作品名	制作年	材質	技法	形状	寸法(縦×横)cm	初出展覧会	所蔵
I 初期・20～30代								
1	春立つ頃	大正10年(1921)	絹本	彩色	屏風四曲一隻	140.0×222.0	京都市立美術工芸学校卒業制作	京都市立芸術大学芸術資料館
2	閑庭迎秋	大正10年(1921)	絹本	彩色	屏風六曲一隻	131.0×272.0	第3回帝展	松伯美術館
3	仙禽暎光	大正11年(1922)	絹本	彩色	屏風六曲一隻	207.0×409.6	第4回帝展	松伯美術館
4	花鳥	大正13年(1924)	絹本	彩色	軸装	82.0×69.0	京都市立絵画専門学校卒業制作	京都市立芸術大学芸術資料館
5	金鶏・銀鶏	大正15年(1926)	絹本	彩色	屏風二曲一双	各160.0×188.0	第7回帝展	松伯美術館
6	水魚二題	昭和4年(1929)	絹本	彩色	軸装(対幅)	各89.0×116.0	第6回青甲社展	京都市美術館
7	金魚	昭和4年(1929)	絹本	彩色	額装(二面)	各44.0×135.0	京都市立絵画専門学校研究科展	松伯美術館
8	鹿寄せ	昭和7年(1932)	絹本	彩色	軸装	241.0×199.0	第13回帝展	松伯美術館
9	冬暖	昭和8年(1933)	紙本	彩色	屏風二曲一隻	169.0×181.0	第10回青甲社展	松伯美術館
10	春雨	昭和9年(1934)	絹本	彩色	額装	152.2×131.2	大礼記念京都美術館美術展	松伯美術館
11	蘇汀雨情	昭和9年(1934)	絹本	彩色	軸装	223.0×203.0	第15回帝展	松伯美術館
12	山鹿	昭和11年(1936)	絹本	彩色	額装	183.5×289.0	文展招待展	京都市美術館
13	母子の羊	昭和12年(1937)	絹本	彩色	屏風二曲一隻	177.0×259.0	第1回新文展	松伯美術館
14	羊と遊ぶ	昭和13年(1938)	紙本	彩色	屏風二曲一隻	186.0×207.0	第11回青甲社展	松伯美術館
15	月夜	昭和14年(1939)	絹本	彩色	額装	275.0×177.5	第3回新文展	松伯美術館
16	早秋	昭和16年(1941)	紙本	彩色	額装	213.0×170.0	第4回新文展	松伯美術館
17	狐	昭和17年(1942)	紙本	彩色	額装	58.0×131.0	第7回京展	松伯美術館
II 転換期・熱帯テーマ								
18	青柿	昭和22年(1947)	絹本	彩色	額装	89.0×129.3	第3回日展	松伯美術館
19	樹蔭	昭和23年(1948)	絹本	彩色	額装	127.0×178.0	第1回創造美術展	松伯美術館

No.	作品名	制作年	材質	技法	形状	寸法	初出展覧会	所蔵
20	八仙花	昭和 25 年 (1950)	絹本	彩色	額装	91.0×130.0	第 3 回創造美術展	松伯美術館
21	蓮	昭和 27 年 (1952)	絹本	彩色	額装	142.0×176.0	第 16 回新制作協会展	松伯美術館
22	朝	昭和 28 年 (1953)	紙本	彩色	額装	147.5×216.5	第 17 回新制作協会展	東京国立近代美術館
23	池	昭和 29 年 (1954)	紙本	彩色	額装	180.0×149.0	第 18 回新制作協会展	京都市美術館
24	草原八月	昭和 31 年 (1956)	紙本	彩色	額装	166.0×259.0	第 20 回新制作協会展	松伯美術館
25	星五位	昭和 33 年 (1958)	紙本	彩色	額装	192.0×128.0	第 22 回新制作協会展	東京国立近代美術館
26	鷓	昭和 34 年 (1959)	紙本	彩色	額装	125.0×193.0	第 23 回新制作協会展	神奈川県立近代美術館
27	熱国睡蓮	昭和 35 年 (1960)	紙本	彩色	額装	162.0×227.0	第 24 回新制作協会展	衆議院
28	熱帯花鳥	昭和 38 年 (1963)	紙本	彩色	額装	129.0×192.0	第 27 回新制作協会展	松伯美術館
29	ハイビスカ ストカード ィナル	昭和 39 年 (1964)	紙本	彩色	額装	90.0×60.6	新制作協会日本画部 春季展	松伯美術館
30	鳥	昭和 41 年 (1966)	紙本	彩色	額装	61.0×91.0	第 7 回現代日本美術展	松伯美術館
31	樹下幽禽	昭和 41 年 (1966)	紙本	彩色	額装	130.5×194.2	第 30 回新制作協会展	日本藝術院

Ⅲ 古典回帰

32-1 ~14	「額田女王」 挿絵原画 (1) ~ (14)	昭和 43~44 年 (1968~1969)	紙本	墨画	額装	各 12.5×41.0		松伯美術館
33	万葉の春	昭和 45 年 (1970)	紙本	彩色	額装	186.0×765.2		近畿日本鉄道株式会社 (松伯美術館管理)
34	緋桃	昭和 45 年 (1970)	紙本	彩色	額装	131.5×194.9	第 34 回新制作協会展	松伯美術館
35	立葵	昭和 46 年 (1971)	紙本	彩色	額装	193.0×115.0	第 35 回新制作協会展	京都市立芸術大学芸術資料館
36	燦雨	昭和 47 年 (1972)	紙本	彩色	額装	181.8×363.2	第 36 回新制作協会展	松伯美術館
37	鳳凰木	昭和 48 年 (1973)	紙本	彩色	額装	72.0×93.0	上村松篁日本画展	松伯美術館
38	壬生狂言	昭和 48 年 (1973)	紙本	彩色	額装	52.2×71.6	京の百景展	京都府立総合資料館 (京都文化博物館管理)
39	白木蓮	昭和 50 年 (1975)	紙本	彩色	額装	129.0×194.0	第 2 回創画展	松伯美術館
40	夕千鳥	昭和 51 年 (1976)	紙本	彩色	額装	164.0×229.0	第 3 回創画展	京都市美術館
41	花(雪月花の 三題のうち)	昭和 53 年 (1978)	紙本	彩色	額装	100.2×72.7	春季創画展	松伯美術館
42	杜若	昭和 53 年 (1978)	紙本	彩色	額装	130.3×193.9	第 5 回創画展	神奈川県立近代美術館
43	月明	昭和 54 年 (1979)	紙本	彩色	額装	212.2×166.9	第 6 回創画展	松伯美術館

Ⅳ 晩年・最晩年

44	真鶴 (一対)	昭和 55 年 (1980)	紙本	彩色	額装 (二面)	各 161.8×130.0	春季創画展	松伯美術館
45	丹頂 (一対)	昭和 55 年 (1980)	紙本	彩色	額装 (二面)	各 227.0×157.0	第 7 回創画展	松伯美術館

No.	作品名	制作年	材質	技法	形状	寸法	初出展覧会	所蔵
46	蓮	昭和56年(1981)	紙本	彩色	額装	130.5×162.3	第8回創画展	松伯美術館
47	雁金	昭和57年(1982)	紙本	彩色	額装	216.0×174.0	第9回創画展	松伯美術館
48	春静	昭和58年(1983)	紙本	彩色	額装	65.2×90.7	春季創画展	松伯美術館
49	孔雀	昭和58年(1983)	紙本	彩色	額装	227.0×227.0	第10回創画展	京都国立近代美術館
50	春輝	昭和59年(1984)	紙本	彩色	額装	130.5×194.3	第11回創画展	松伯美術館
51	白雁	昭和60年(1985)	紙本	彩色	額装	162.2×227.3	第12回創画展	松伯美術館
52	薪能	昭和61年(1986)	紙本	彩色	額装	53.6×73.2	京の四季展	京都府
53	兎I	昭和62年(1987)	紙本	彩色	額装	61.1×91.2	春季創画展	松伯美術館
54	芥子	昭和62年(1987)	紙本	彩色	額装	208.0×183.8	第14回創画展	松伯美術館
55	春宵	平成5年(1993)	紙本	彩色	額装	81.0×116.0	春季創画展	松伯美術館
56	葛	平成5年(1993)	紙本	彩色	額装	73.0×116.0	第20回創画展	松伯美術館
57	小国鶏	平成6年(1994)	紙本	彩色	額装	73.0×116.0	春季創画展	松伯美術館
58	栗	平成6年(1994)	紙本	彩色	額装	81.0×116.0	第21回創画展	松伯美術館
59	伍位鷺	平成7年(1995)	紙本	彩色	額装	72.7×100.0	第22回創画展	松伯美術館
60	黄蜀葵	平成9年(1997)	紙本	彩色	額装	121.0×95.0	第24回創画展	松伯美術館
61	春愁	平成11年(1999)	紙本	彩色	額装	99.2×72.3	春季創画展	松伯美術館
資料								
S-1	スケッチブック					27.0×38.7		松伯美術館
S-2	スケッチブック					39.5×60.0		松伯美術館
S-3	スケッチブック					35.8×57.8		松伯美術館
S-4	スケッチブック					35.5×53.6		松伯美術館
S-5	スケッチブック					38.2×53.6		松伯美術館
S-6	スケッチブック					35.5×50.6		松伯美術館
S-7	スケッチブック					30.5×51.0		松伯美術館
S-8	スケッチブック 魚					30.0×41.2		松伯美術館

茨城県近代美術館コレクション 再興院展 時代を拓く作家たち

●**会期** 平成24年12月1日(土)～平成25年1月14日(月・祝)

●**主催等** 主催：茨城県天心記念五浦美術館
後援：NHK水戸放送局 北茨城市

●**ポスター** B2

●**チラシ** A4

●**リーフレット** A4 8頁

●**入場者数** 9,722人

●**観覧料** 一般500(400)円／高大生300(250)円
小中生200(150)円
※()内は20名以上の団体料金

●**出品点数** 71点

●**内容解説**

岡倉天心の一周忌にあたる大正3年、天心の遺志を継いだ横山大観、下村観山らによって再興された日本美術院は、日本画部に洋画部、彫刻部を加えた在野の美術団体として発足した。彼らに続く安田靉彦、小林古径、前田青邨らをはじめ気鋭の画家たちは伝統絵画を学ぶ一方、清新で柔軟な感覚で個性あふれる作品を発表してきた。その後洋画部、彫刻部の脱退があったが、再興院展の作家たちは自由な芸術の創造を目指した天心の精神を受け継ぎ、近代日本美術の発展に大きな足跡を残している。

本展では、県近代美術館のコレクションに茨城大学所蔵の木村武山、平櫛田中、平山郁夫の名品を加えた、71点の日本画、洋画、彫刻により、再興時から現在まで再興院展を舞台に活躍してきた作家たちの意欲的で創意に満ちた作品の数々を紹介した。

県近代美術館の所蔵品による企画展は、当館として初めての試みであったが、天心記念茨城賞受賞作品や新収蔵作品、寄託作品などを積極的に活用するなど、院展作家を重点的に収集する日頃の美術館活動の成果を示すことができ

た。また当館としてこれまで展示する機会の少なかった再興院展洋画部と彫刻部の作家の作品展示や当コレクションの他にも平山郁夫や平櫛田中らの作品を茨城大学から特別出品として加えることにより、一世紀にわたる再興院展の系統的な展観を可能にすることができた。また会期中、鑑賞ガイド用のリーフレットを作成し配布した。

●**担当** 永宮勤士(学芸員)

●**関連事業**

学芸員によるギャラリートーク

担当 永宮勤士(学芸員)

日時 12月9日(日)午後1時30分～午後2時30分

1月12日(土)午後1時30分～午後2時30分

新春邦楽の調べ

日時 平成25年1月5日(土) 午前11時～、午後2時～

演奏者 初見宗郷(尺八)、小林久子(箏)、

福田祐子(唄)、初見佳秋(箏)

●**関連記事**

・再興院展 1世紀の軌跡 年代順に71点展示
(三次豪)

12月2日【茨城新聞】

・再興院展 時代を拓く作家たち

12月5日【両毛新聞】

・大観作品など71点 来月14日まで再興院展(臼井真)

12月26日【毎日新聞】

・大観ら巨匠の作品一堂に 五浦美術館で再興院展、14日まで

1月9日【朝日新聞】



リーフレット A4



ポスター B2



チラシ A4

● 出品作品一覧

No	作者名	作品名	制作年	材質・形状	寸法(cm)	出品歴／所蔵先等
I 日本美術院の再興—大正期から昭和前期まで—						
【日本画】						
1	小川芋銭	夢中野干燈	大正 14 年(1925)	紙本・墨画・軸装	62.9×84.4	再興第 12 回院展
2	小川芋銭	暮色湖香(太古香)	昭和 5 年(1930)	紙本・彩色・軸装	68.2×106.0	再興第 17 回院展／ 寄託
3	横山大観	瀟湘八景(遠浦雲帆)	大正 2～3 年頃 (c.1913-14)	絹本・彩色・軸装	131×50.3	
4	横山大観	瀟湘八景(山市晴嵐)	大正 2～3 年頃 (c.1913-14)	絹本・彩色・軸装	131×50.3	
5	横山大観	瀟湘八景(瀟湘夜雨)	大正 2～3 年頃 (c.1913-14)	絹本・彩色・軸装	131×50.3	
6	横山大観	瀟湘八景(烟寺晚鐘)	大正 2～3 年頃 (c.1913-14)	絹本・彩色・軸装	131×50.3	
7	横山大観	瀟湘八景(漁村返照)	大正 2～3 年頃 (c.1913-14)	絹本・彩色・軸装	131×50.3	
8	横山大観	瀟湘八景(平沙落雁)	大正 2～3 年頃 (c.1913-14)	絹本・彩色・軸装	131×50.3	
9	横山大観	瀟湘八景(洞庭秋月)	大正 2～3 年頃 (c.1913-14)	絹本・彩色・軸装	131×50.3	
10	横山大観	瀟湘八景(江天暮雪)	大正 2～3 年頃 (c.1913-14)	絹本・彩色・軸装	131×50.3	
11	下村観山	竹林七賢図	大正 4 年頃(c.1915)	絹本・彩色 ・屏風六曲一双	各 169×374	
12	木村武山	小春	大正 3 年(1914)	絹本・彩色 ・屏風六曲一双	各 176.6× 378.8	再興第1回院展／国立 大学法人茨城大学蔵
13	木村武山	弁財天	大正 15 年(1926)	絹本・彩色・軸装	181.1×85	再興第 13 回院展
14	富田溪仙	長江鶺鴒	大正 8 年頃(c.1919)	紙本・淡彩 ・屏風六曲一双	各 171×361	
15	今村紫紅	海辺図	明治 44 年頃(c.1911)	絹本・彩色・軸装	96.3×35.6	
16	森田恒友	海辺風景	大正期(c.1912-26)	絹本・彩色・軸装	148.5×178.2	
17	小杉未醒	楽人と踊子	大正 10 年頃(c.1921)	紙本・彩色 ・屏風二曲一双	各 168×166	志村國作氏寄贈
18	小林古徑	少女	大正 13 年頃(c.1924)	絹本・彩色・軸装	129.0×41.9	
19	近藤浩一路	古里	大正期(c.1912-26)	紙本・墨画 ・屏風六曲一双	各 149×294	
20	安田鞞彦	鴨川夜情	昭和 7 年(1932)	紙本・墨画彩色 ・額装	87.5×119.7	第 3 回七絃会展
21	山村耕花	寒山・拾得	大正 6 年(1917)	絹本・彩色・軸装 (対幅)	左 132.4/右 132.7×49.4	日本美術院同人作品 展
22	前田青邨	江島詣	昭和 10～12 年頃 (c.1935-37)	絹本・彩色・軸装	139.0×51.3	
23	堅山南風	熱国の夕べ	大正 6 年(1917)	絹本・彩色 ・屏風八曲一隻	168×482	再興第 4 回院展／ 寄託
24	奥村土牛	仔馬	昭和 12 年(1937)	絹本・彩色 ・屏風二曲一隻	160×192	再興第 24 回院展

No	作者名	作品名	制作年	材質・形状	寸法(cm)	出品歴／所蔵先等
25	小茂田青樹	乙艦帰帆	大正4年(1915)	絹本・彩色・軸装	56.5×86.5	第3回赤曜会展
26	速水御舟	洛外六題 宇治[習作]	大正6年(1917)	紙本・彩色・額装	42×100	
27	速水御舟	寒林	大正14年(1925)	絹本・墨画彩色 ・軸装	27.8×39.1	
【洋画】						
28	森田恒友	風景	大正14年(1925)	油彩・麻布・額装	36.7×44.4	
29	小杉未醒	濱の冬	明治44年頃(c.1911)	油彩・麻布・額装	32.2×44.1	
30	萬鐵五郎	家のある風景	大正4年(1915)	油彩・麻布・額装	45.5×33.3	
31	萬鐵五郎	土沢風景	大正4年(1915)	油彩・麻布・額装	53.5×41	寄託
32	小出檜重	中之島風景	大正14年(1925)	油彩・紙・額装	24×33	
33	小出檜重	毛糸の束	大正15年(1926)	油彩・麻布・額装	53×72.8	第13回二科展
【彫刻】						
34	平櫛田中	飯村丈三郎翁	大正13年(1924)	木彫	高79.0 幅 27.4 奥24.8	再興第16回院展/ 寄託
35	平櫛田中	西山公(水戸黄門)	昭和38年(1963)	木彫・彩色	高62.5 幅22 奥17.5	寄託
36	平櫛田中	活人箭	昭和39年(1964)	木彫	高43.3 幅 72.8 奥37.4	国立大学法人茨城大 学蔵
37	戸張孤雁	トルソー	大正14年(1925)	ブロンズ	高20 幅9 奥 7.5	
38	石井鶴三	中原悌二郎氏像	大正5年(1916)	ブロンズ	高57.8 幅35 奥23	再興第3回院展
39	中原悌二郎	石井氏像	大正5年(1916)	ブロンズ	高39.3 幅23 奥19.5	再興第3回院展
40	中原悌二郎	憩える女	大正8年(1919)	ブロンズ	高30.2 幅 15.5 奥37	再興第6回院展
41	中原悌二郎	若きカフカス人	大正8年(1919)	ブロンズ	高41.5 幅 20.5 奥17.5	再興第6回院展
42	保田龍門	少女	大正10~11年頃 (c.1921-22)	ブロンズ	高19 幅19.2 奥20.5	再興第10回院展
43	保田龍門	クリスティーヌの首	大正11年(1922)	ブロンズ	高34 幅28.2 奥29.5	再興第10回院展
44	菅原安男	老容(自刻像)	昭和58年(1983)	ブロンズ	高75 幅38 奥40	第47回新制作協会 展
Ⅱ 戦後の再興院展—昭和21年から平成まで—						
【日本画】						
45	清原 斉	宵	昭和30年(1955)	紙本・彩色・額装	230.3×194.5	再興第40回院展
46	酒井三良	海	昭和27年(1952)	紙本・墨画・額装	93×123	再興第37回院展/ 伊藤興太郎氏寄贈
47	酒井三良	海	昭和38年(1963)	紙本・墨画淡彩 ・額装	74.3×104.6	再興第48回院展/ 国立大学法人茨城大 学蔵
48	小松 均	牡丹	昭和21年(1946)	紙本・彩色・額装	282.5×214.5	再興第31回院展
49	羽石光志	閑日	昭和21年(1946)	紙本・彩色・屏風 三曲一隻(観音開)	162×230	再興第31回院展/ 寄託

No	作者名	作品名	制作年	材質・形状	寸法(cm)	出品歴／所蔵先等
50	片岡球子	春の富士(梅)	昭和 63 年(1988)	紙本・彩色 ・屏風二曲一隻	182×182	
51	吉田善彦	浅間月明	昭和 53 年(1978)	紙本・彩色・額装	162.1×130.3	第 5 回遊星会展／ 寄託
52	郷倉和子	爽春の朝	平成 17 年(2005)	紙本・彩色 ・屏風四曲一隻	150×216	再興第 90 回院展／ 作者寄贈
53	森田曠平	女神春秋—花鎮め	昭和 57 年(1982)	紙本・彩色 ・屏風四曲一隻	173.7×364	再興第 67 回院展／ 寄託
54	森田曠平	女神春秋—龍田姫	昭和 58 年(1983)	紙本・彩色 ・屏風四曲一隻	173.8×364.9	再興第 68 回院展／ 寄託
55	福王寺法林	白光のヒマラヤ	平成 3 年(1991)	紙本・彩色・額装	200×728	再興第 76 回院展／ 作者寄贈
56	松尾敏男	五浦潮音	平成 3 年(1991)	紙本・彩色 ・屏風六曲一双	各 169×372	再興第 74 回院展(左 隻のみ)／作者寄贈
57	平山郁夫	日本美術院血脉図	昭和 40 年(1965)	紙本・彩色・額装	222×179	再興第 50 回院展／ 国立大学法人茨城大 学蔵
58	鎌倉秀雄	誘惑	昭和 51 年(1976)	紙本・彩色・額装	179×222.5	再興第 61 回院展／ 作者寄贈
59	小谷津雅美	終宴	平成 10 年(1998)	紙本・彩色・額装	225×180	再興第 83 回院展／ 作者寄贈
60	那波多目功一	月輪	平成 2 年(1990)	紙本・彩色・額装	225×180	再興第 72 回院展／ 作者寄贈
61	那波多目功一	惜春	平成 19 年(2007)	紙本・彩色・額装	217×172	再興第 92 回院展／ 寄託
62	那波多目功一	待春	平成 21 年(2009)	紙本・彩色 ・屏風四曲一隻	165×265	再興第 94 回院展／ 作者寄贈
63	福井爽人	星のオアシス	平成 16 年(2004)	紙本・彩色・額装	165×285	再興第 89 回院展／ 寄託
64	菊川三織子	花影	平成 7 年(1995)	紙本・彩色・額装	210×168	再興第 80 回院展／ 作者寄贈
65	倉島重友	川風	平成 13 年(2001)	紙本・彩色・額装	213×168	再興第 86 回院展／ 作者寄贈
66	齋藤満栄	秋晨	平成 12 年(2000)	紙本・彩色・額装	172×217	再興第 85 回院展／ 作者寄贈
67	梅原幸雄	花筏	平成 13 年(2001)	紙本・彩色・額装	181×546	再興第 86 回院展／ 寄託
68	西田俊英	華孔雀	平成 15 年(2003)	紙本・彩色・額装	182×364	再興第 88 回院展／ 寄託
69	高橋天山	清夜	平成 11 年(1999)	紙本・彩色・額装	224×179	再興第 84 回院展／ 作者寄贈
70	小田野尚之	見送る人	平成 14 年(2002)	紙本・彩色・額装	169.8×214.8	再興第 87 回院展／ 作者寄贈
71	宮北千織	うつろふ	平成 16 年(2004)	紙本・彩色・額装	170×215	再興第 89 回院展／ 作者寄贈

※所蔵先の記載のない作品は茨城県近代美術館蔵

再興第 97 回院展 茨城五浦展

- 会期** 平成25年3月8日(金)～4月7日(日)
- 主催等** 主催：茨城県天心記念五浦美術館
公益財団法人日本美術院
後援：NHK水戸放送局 北茨城市
- ポスター** B2, B3
- チラシ** A4
- 図録** 240×250mm 118頁
編集・発行 公益財団法人日本美術院
- 入場者数** 9,529人
- 観覧料** 一般600(500)円／高大生400(300)円
小中生200(150)円
※()内は20名以上の団体料金

●**出品点数** 70点

●内容解説

日本美術院は、明治 39(1906)年に東京谷中の研究所を茨城県五浦に移し、新しい日本画の創造に邁進した。天心の没後、大正 3(1914)年、その精神を受け継いだ横山大観、下村観山らによって日本美術院が再興されて以来、前田青邨、安田靉彦、小林古径ら数多くの巨匠たちを輩出してきた。今日では、郷倉和子、松尾敏男、那波多目功一らの同人作家をはじめ、中堅、新進作家が意欲的な作品を発表している。

今回の茨城五浦展では、再興第 97 回院展に出品された作品の中から、同人をはじめ日本美術院賞、奨励賞、さらに第 18 回天心記念茨城賞の受賞作家等の作品あわせて 70 点を選抜し、伝統に立脚しながらも新しい表現を追求し続ける院展の画家たちの芸術を紹介した。

●**担当** 三代博紀(首席学芸主事)

●関連イベント

開催記念プレゼント(ミニクリアファイル)

日時 3月8(金)9(土)10(日)

各日先着30名(入館券購入者)

那波多目功一・倉島重友ギャラリートーク
&サイン会

日時 3月8日(金)

ギャラリートーク 午前9時50分～10時45分

サイン会 午前10時50分～11時15分

第24回トワイライトコンサート「ヴァイオリンとピアノの夕べ」

日時：3月9日(土)午後5時開演

出演：山崎響子(ヴァイオリン)、
三浦有香(ピアノ)

場所：エントランスロビー(定員300名)

日本画体験実技講座

「花を描くー砂子蒔きつぶしの技法を使って」

日時 3月30日(土)～31日(日)午前9時30分～午後
4時30分(31日は午後4時まで)

講師 高島圭史(日本美術院特待、第18回天心記
念茨城賞)

学芸員によるギャラリートーク

担当 三代博紀(首席学芸主事)

日時 3月16日(土)午後1時30分～午後2時30分

3月24日(日)午後1時30分～午後2時30分

●関連記事

- ・院展 茨城五浦展
3月6日(水)【両毛新聞】
- ・画家70人の作品紹介(臼井真)
3月8日(金)【毎日新聞】
- ・本県ゆかりの作家ら70点(沢畑浩二)
3月9日(土)【茨城新聞】
- ・北茨城で再興院展 来月7日まで70点
3月21日(木)【読売新聞】
- ・大作の70点、県内初公開
3月28日(木)【朝日新聞】



図録



ポスター B2



ポスター B3



チラシ A4

● 出品作品一覧

同人(同人推挙順)

No.	作者名	作品名	寸法(縦×横 cm)	備考
1	郷倉 和子	同人 春の瞬き	113.0 × 142.0	
2	松尾 敏男	同人 白糸の滝	193.7 × 386.6	
3	後藤 純男	同人 大和の雪	142.7 × 192.7	
4	小山 硬	同人 満鉄アジア号	170.0 × 343.5	
5	鎌倉 秀雄	同人 雪色平等院	127.0 × 209.0	
6	福井 爽人	同人 明ける	185.5 × 352.0	
7	伊藤 彰耳	同人 花のゆらぎの中	183.0 × 545.0	
8	松本 哲男	同人 ティカル追想(マヤ)	243.0 × 605.1	
9	田淵 俊夫	同人 木の間	185.0 × 451.0	
10	那波多目 功一	同人 爛漫	171.0 × 284.0	
11	手塚 雄二	同人 天の橋立	201.0 × 372.5	
12	福王寺 一彦	同人 星降る海に(三)	199.0 × 199.0	
13	梅原 幸雄	同人 水無月・奥入瀬	184.2 × 544.2	
14	清水 達三	同人 波嵐	207.0 × 365.5	
15	宮廻 正明	同人 放下便是	222.1 × 297.0	
16	菊川 三織子	同人 静日	213.0 × 180.5	
17	西田 俊英	同人 鳴々生々	187.0 × 410.0	
18	松村 公嗣	同人 紫禁城	175.5 × 369.0	
19	大矢 紀	同人 須弥山図	205.0 × 251.0	
20	高橋 天山	同人 火之迦具土神	201.5 × 293.5	
21	川瀬 磨士	同人 残照	211.5 × 278.0	
22	吉村 誠司	同人 印度微風	191.1 × 249.5	
23	村上 裕二	同人 巨木とハシゴ	181.0 × 336.0	文部科学大臣賞
24	大野 百樹	同人 樹陽	224.0 × 179.0	
25	今井 珠泉	同人 渚	175.5 × 369.6	
26	倉島 重友	同人 合歡	198.5 × 243.5	内閣総理大臣賞
27	清水 由朗	同人 煙波	192.5 × 385.5	
28	齋藤 満栄	同人 平城京	240.0 × 264.0	
29	小田野 尚之	同人 響	190.0 × 234.5	
30	宮北 千織	同人 悠久の眠り	188.0 × 234.0	
31	大野 逸男	同人 霧の峠	202.0 × 247.0	
32	北田 克己	同人 朝との汀	198.0 × 340.0	

一般入選作一招待・無鑑査を含む(五十音順)

No.	作者名	作品名	寸法(縦×横 cm)	備考
33	石村 雅幸	静談	225.0 × 180.0	
34	井手 康人	夢開く	225.0 × 180.0	
35	岩永 てるみ	天の窓	225.0 × 180.0	
36	岩波 昭彦	日射し	218.0 × 178.0	奨励賞
37	大久保 智睦	Reflection-3	180.0 × 225.0	
38	大野 由香里	初夏の部屋	174.2 × 218.5	初入選
39	大矢 十四彦	黄昏	225.0 × 180.0	奨励賞
40	岡田 眞治	午後の光	225.0 × 180.0	奨励賞
41	小田切 恵子	園	215.0 × 180.0	
42	鬼塚 堅太	筑波野	180.0 × 225.0	
43	角島 直樹	灯刻	180.0 × 225.0	奨励賞

No.	作者名		作品名	寸法(縦×横 cm)	備考
44	狩俣 公介		螺生	180.0 × 223.0	奨励賞
45	神田 良子		雪の降る夜	225.0 × 180.0	
46	岸野 香	招待	交響	180.0 × 225.0	
47	久下 有貴		菩薩もよう	172.3 × 217.3	
48	近藤 仁		夢現	180.0 × 225.0	奨励賞
49	齋藤 勝正		歴 (いわき神代海岸)	180.0 × 225.0	奨励賞
50	齋藤 竜太		光明	216.5 × 170.4	
51	篠崎 美保子		風の記憶	225.0 × 180.0	奨励賞
52	鈴木 恵麻		道程	174.0 × 220.0	
53	高島 圭史		旅の博物誌	180.0 × 225.0	日本美術院賞 第18回天心記念茨城賞
54	仲 裕行		戯	180.0 × 225.0	無鑑査
55	中村 譲	招待	豊漁鯛網	180.0 × 225.0	
56	並木 秀俊		青い閃光	170.0 × 210.0	奨励賞
57	新倉 嘉江		帰り道	225.0 × 180.0	
58	西澤 秀行		路地裏	223.5 × 151.5	
59	羽子田 長門		リビアの風	225.0 × 180.0	
60	番場 三雄		タルチョ舞う中で	180.0 × 225.0	日本美術院賞
61	前田 力		廻る	180.0 × 225.0	奨励賞
62	前原 満夫	招待	萌芽の時	222.0 × 176.0	
63	松本 高明	招待	静池	179.0 × 224.0	
64	水野 淳子		羽根を纏う	180.0 × 225.0	
65	水見 剛		天の海に	222.0 × 177.0	
66	宮川 佑介		Inity	220.0 × 174.5	
67	守 みどり		小径	225.0 × 180.0	
68	山本 浩之		現	215.0 × 170.0	奨励賞 無鑑査
69	・井 東人		蝶	212.0 × 172.0	奨励賞
70	藁谷 実		共鳴	224.0 × 179.5	奨励賞 無鑑査

2 所蔵品展

●概要

茨城県近代美術館所蔵作品から日本画を中心に、その都度テーマを設けて選び出し、展示室Aで所蔵品展として年3回展示を行った。

●主催 茨城県天心記念五浦美術館

●会期及びテーマ、入場者数

会期	テーマ	人数
3月2日(金)～4月8日(日)	特別展示 甦る五浦―受け継がれし天心のこころ	※1,552
5月31日(木)～7月8日(日)	悠久の自然―山をみつめて	10,404
7月12日(木)～8月12日(日)	絵巻の世界―移ろう時間を描いて	7,451
1月18日(金)～3月3日(日)	雲変化―いろとかたち―	12,206
合計		8,944

※平成24年4月1日からの入館者を集計しています。

●観覧料

一般 180(140)円／高大生 110(80)円／小中生 80(50)円

※()内は20名以上の団体料金

※満70歳以上の方及び身体障害者手帳、療育手帳等をお持ちの方は無料

※土曜日は高校生以下無料(冬休み・春休みの期間を除く)

●所蔵品展チラシ (各A4)



●関連記事

- ・悠久の自然―山をみつめて 茨城県天心記念五浦美術館
5月18日【両毛新聞】
- ・大観らが描いた山の作品28点
6月13日【毎日新聞】
- ・「悠久の自然―山をみつめて」展
6月30日【常陽リビング】
- ・絵巻の世界―移ろう時間を描いて
7月5日【両毛新聞】
- ・美しい自然の表情を生み出す雲の作品展
【足利漫我人2013年1月&2月号VOL.320】
- ・雲変化―いろとかたち―
1月18日【両毛新聞】

所蔵品展 悠久の自然—山をみつめて 平成24年5月31日(木)~7月8日(日)

日本は緑豊かな自然景観に恵まれ、その国土の多くを山地によって占められている。古来人々は永遠性を感じさせる山の姿に畏敬の念を抱くとともに、その豊かな恵みを受けながら生活を営んできた。

峻厳で壮大な山の姿や季節や時刻の移り変わりによって様々な表情をみせる山の美しさは画家を魅了し、多くの絵画にも描かれてきた。本展覧会では横山大観らの日本画を中心に、五姓田義松らの洋画、小堀進らの水彩画を含む28点の作品により、山を見つめた画家たちの作品とその魅力を紹介した。

●出品目録

No.	作者名	生没年	作品名	制作年	材質・技法・形状	寸法縦×横cm	備考
1	奥原 晴湖	1837-1913	山水之図	明治10年	絹本・墨画・軸装	152.3×86.2	
2	津島 寿山	1864-1923	山水図	明治26年	紙本・墨画淡彩・軸装	175.0×87.0	
3	佐川 華谷	1867-1946	富嶽図	昭和15年	絹本・墨画・額装	80.0×183.0	
4	小川 芋銭	1868-1938	二神乃御山詣	昭和期	絹本・彩色・軸装	139.7×42.4	結城四郎氏寄贈
5	小川 芋銭	1868-1938	芙蓉群峯	昭和10年	紙本・墨画・軸装	53.0×65.0	
6	横山 大観	1868-1958	紫山返照	昭和10年	紙本・墨画淡彩・額装	76.0×115.0	
7	横山 大観	1868-1958	蓬萊山	昭和21年頃	絹本・彩色・軸装	50.0×58.0	結城四郎氏寄贈
8	川合 玉堂	1873-1957	漁村早春, 秋溪 帰駄	大正2年頃	絹本・彩色・軸装(対 幅)	各136.0×55.8	
9	菱田 春草	1874-1911	秋 宵	明治38年	絹本・彩色・額装	35.0×86.5	
10	土田 麦僊	1887-1936	熊野の冬	大正6年	絹本・彩色・軸装	137.5×43.5	
11	小野 竹喬	1889-1979	武陵桃源	大正7年頃	絹本・彩色・屏風六曲 一双	各164.0×373.5	
12	福田 平八郎	1892-1974	郷里豊後風景	大正4~7年頃	絹本・彩色・軸装	114.6×40.1	
13	鈴木 草牛	1905-1988	阿 蘇	昭和48年	紙本・墨画・額装	120.0×177.0	渡辺功太郎氏寄贈
14	浦田 正夫	1910-1997	悠	平成3年	紙本・彩色・額装	167.7×197.0	作者寄贈
15	森田 曠平	1916-1994	富士と愛鷹	昭和62年	紙本・彩色・額装	60.8×90.8	寄託
16	加倉井 和夫	1919-1995	寛	不詳	紙本・彩色・額装	72.3×72.8	寄託
17	川瀬 麿士	1941-	山	平成9年	紙本・彩色・額装	175.0×220.0	第3回天心記念茨 城賞
18	下村観山・小川芋銭 飛田周山・木村武山 松本楓湖・横山大観		飯村丈三郎 古稀記念画冊	大正11年	絹本・彩色・画冊	各26.0×36.0	寄託
〈 油彩画 〉							
19	五姓田 義松	1855-1915	朝陽の富士	明治36~38年頃	油彩・麻布・額装	73.7×98.5	
20	吉田 博	1876-1950	槍ヶ岳	大正10~15年	油彩・麻布・額装	61.0×80.0	
21	栗原 信	1894-1966	しぐれる米山	昭和30年	油彩・麻布・額装	53.0×72.0	
22	海老原 喜之助	1904-1970	雪中行軍	昭和5年	油彩・麻布・額装	90.5×72.2	
23	田村 一男	1904-1997	北信冬	平成2年	油彩・麻布・額装	145.5×89.4	
24	西田 亨	1920-	暮れなずむ	昭和60年	油彩・麻布・額装	194.0×131.0	作者寄贈
〈 水彩画 〉							
25	児島 善三郎	1893-1962	夏山	昭和26年	水彩・紙・額装	38.5×57.0	
26	小堀 進	1904-1975	噴煙	昭和34年	水彩・紙・額装	55.0×74.5	寄託
27	小堀 進	1904-1975	晨峯	昭和39年	水彩・紙・額装	85.1×121.7	小堀昭氏寄贈
28	小堀 進	1904-1975	山麓	昭和48年	水彩・紙・額装	95.0×143.0	寄託

所蔵品展 絵巻の世界—移ろう時間を描いて 平成24年7月12日(木)~8月12日(日)

絵巻は、中国の画卷形式にならい、平安時代以降の日本で独自に発展した絵画形式である。横長の画面に次々とくり広げられてゆく場面を追いながら、物語の展開とともに季節の変化や時の移り変わりを感じることができるのが、絵巻の大きな魅力といえる。

本展覧会では、日本の情景をしつとりと描いた、横山大観の「春曙・秋夜」や宮沢賢治の童話を基に、その世界を色彩豊かに表現している小林巢居人の「よだかの星」、戦乱の世を舞台にした上田秋成の怪異小説をもとに描いた森田曠平の「雨月物語」など20点の優品を中心に展示する他、絵巻体験コーナーなども設置して、日本絵画の伝統的ジャンルの一つである絵巻の世界を多角的にわかりやすく紹介した。

●出品目録

No.	作者名	生没年	作品名	制作年	材質・技法・形状	寸法縦×横cm	備考
1	小川 芋銭	1868-1938	於那羅合戦下絵	大正10年頃	紙本・墨画・卷子	21.7×435.2	
2	横山 大観	1868-1958	春曙・秋夜	明治38年	絹本・彩色・卷子(対)	各109.4×245.4	
3	小杉 未醒	1881-1964	木曾絵詞	明治40年	紙本・淡彩・卷子	16.1×1046.0	杉田郁子氏寄贈
4	小杉 未醒	1881-1964	うさぎ帖	明治42年	紙本・淡彩・卷子	18.2×365.4	杉田郁子氏寄贈
5	近藤 浩一路	1884-1962	房州天津	大正7年	紙本・墨画・卷子	16.5×539.0	
6	川崎 小虎	1886-1977	四季草花鳥獣絵巻	昭和19年頃	紙本・墨画・卷子	29.0×744.0	川崎春彦氏寄贈
7	児玉 素光	1890-1966	常陸五浦真景図	昭和14年頃	紙本・墨画・卷子	66.0×460.0	竹内清次氏寄贈
8	小林 巢居人	1897-1978	田園の四季(春)	大正12年	紙本・淡彩・卷子	22.0×486.0	小林登氏寄贈
9	小林 巢居人	1897-1978	田園の四季(夏)	大正12年	紙本・淡彩・卷子	22.0×461.0	小林登氏寄贈
10	小林 巢居人	1897-1978	田園の四季(秋)	大正12年	紙本・淡彩・卷子	22.0×465.0	小林登氏寄贈
11	小林 巢居人	1897-1978	田園の四季(冬)	大正12年	紙本・淡彩・卷子	22.0×519.0	小林登氏寄贈
12	小林 巢居人	1897-1978	土機光象(上)	昭和18年	紙本・彩色・卷子	55.0×1,660.2	山崎敬子氏寄贈
13	小林 巢居人	1897-1978	土機光象(下)	昭和18年	紙本・彩色・卷子	55.0×1,662.1	山崎敬子氏寄贈
14	小林 巢居人	1897-1978	よだかの星	昭和26年	紙本・彩色・屏風二曲一双	各172.0×255.0	
15	小林 巢居人	1897-1978	水辺画卷	昭和29年	絹本・彩色・額装	56.0×1,750	
16	森田 曠平	1916-1994	雨月物語(浅茅ヶ宿)・別離	昭和51年	紙本・彩色・額装	46.0×134.2	寄託
17	森田 曠平	1916-1994	雨月物語(浅茅ヶ宿)・木曾の神坂	昭和51年	紙本・彩色・額装	46.8×121.7	寄託
18	森田 曠平	1916-1994	雨月物語(浅茅ヶ宿)・閨怨	昭和51年	紙本・彩色・額装	46.8×121.8	寄託
19	森田 曠平	1916-1994	雨月物語(浅茅ヶ宿)・帰郷	昭和51年	紙本・彩色・額装	46.8×462.0	寄託
20	森田 曠平	1916-1994	雨月物語(浅茅ヶ宿)・戦乱	昭和52年	紙本・彩色・額装	46.8×122.8	寄託

所蔵品展 雲変化—いろいろかたち— 平成25年1月18日(金)～3月3日(日)

雲は、大気や光の変化により常にその色や形を刻々と変えながら、美しい自然の表情を生み出しています。絵画においては多くの風景画に空とともに雲が描かれ、画面に様々な表情や雰囲気を与えている。

横山大観は、気象や朝夕の時間により変化する大気を没線描法によって巧みに表現し、小林巢居人は、霞ヶ浦の景観と雲を装飾性豊かに描いている。また水彩画家の小堀進は、雲そのものを主題とし、そこに生まれる一瞬の形と光がつくりだす自然美を大胆な筆致で描き出している。このように雲は、大自然の象徴として画中に様々な形で登場しながら、名脇役、あるいは時に主役としてその役目を果たしているといえる。本展覧会では、茨城県が所蔵する作品の中から日本画、油彩画、水彩画等23点を展示し、雲の描かれた作品の魅力を紹介した。

●出品目録

No.	作者名	生没年	作品名	制作年	材質・技法・形状	寸法(縦×横)cm	備考
〈日本画〉							
1	小川 芋銭	1868-1938	浮動する山岳	昭和3年	紙本・墨画・軸装	94.9×120.8	寄託
2	小川 芋銭	1868-1938	雲樹浄麗	昭和8年	紙本・淡彩・軸装	134.0×43.9	
3	小川 芋銭	1868-1938	江村六月、雲纏烟水	昭和10年	絹本・淡彩・屏風六曲一双	各157.5×333.0	篠目龍三氏寄贈
4	小川 芋銭	1868-1938	筑波春雲	昭和12年頃	紙本・淡彩・軸装	46.5×60.7	
5	横山 大観	1868-1958	夕立	明治35年	絹本・彩色・軸装	116.0×50.0	
6	横山 大観	1868-1958	峠の夕	明治36年	絹本・彩色・軸装	40.5×65.5	

No.	作者名	生没年	作品名	制作年	材質・技法・形状	寸法(縦×横)cm	
7	小林 巢居人	1897-1978	明るい夜	昭和38年	紙本・彩色・額装	116.7×90.8	小林登氏寄贈
8	小林 巢居人	1897-1978	しぐれる日	昭和40年	紙本・彩色・額装	80.0×117.0	小林登氏寄贈
9	川崎 春彦	1929-	襲	平成10年	紙本・彩色・額装	172.0×215.0	作者寄贈
〈油彩画〉							
10	辻 永	1884-1974	サンジェルマンの春	大正10年	麻布・油彩・額装	53.0×72.5	辻朗氏寄贈
11	斎藤 与里	1885-1959	夏の小川	昭和18年	麻布・油彩・額装	99.5×80.0	
12	熊岡 美彦	1889-1944	古塔回春	昭和15年	麻布・油彩・額装	73.0×91.0	
13	栗原 信	1894-1966	小川	昭和5年	麻布・油彩・額装	72.0×99.0	
14	岡 鹿之助	1898-1978	観測所(信号台)	大正15年	麻布・油彩・額装	46.0×55.0	
15	鈴木 良三	1898-1996	静かに陽は昇る(大洗)	昭和57年	麻布・油彩・額装	97.0×146.0	寄託
16	榎戸 庄衛	1908-1994	筑波山	1940年代	麻布・油彩・額装	128.6×192.2	
〈水彩画・他〉							
17	互井 開一	1904-1967	漁港	昭和41年	麻布・水彩・額装	55.0×92.0	
18	小堀 進	1904-1975	花と雲	昭和31年	紙・水彩・額装	83.0×118.0	寄託
19	小堀 進	1904-1975	夕照	昭和34年	紙・水彩・額装	86.8×123.1	小堀昭氏寄贈
20	小堀 進	1904-1975	虹	昭和49年	紙・水彩・額装	95.6×130.0	小堀昭氏寄贈
21	酒泉 淳	1910-2006	白い船	昭和29年	紙・水彩・額装	80.3×100.0	作者寄贈
22	三橋 兄弟治	1911-1996	丘の町(ボカイレンテ)	昭和58年	紙・水彩・額装	98.0×145.5	作者寄贈
23	村山 密	1918-	ロワールの春	平成4年	パステル・油彩の加筆・額装	46.0×55.0	

3 岡倉天心記念室

●概要 多方面にわたる岡倉天心の生涯や業績を書簡や遺品など貴重な資料によって紹介するほか、天心の指導を受けて近代日本美術の発展に大きく貢献した五浦の作家たちの作品を紹介した。

(1) 五浦の作家たちの作品展示

茨城県近代美術館等が所蔵する横山大観、下村観山、菱田春草、木村武山ら五浦の作家たちの作品を選び、年6回の展示を行った。

●会期及び出品目録

No.	作者名	生没年	作品名	制作年	材質・技法・形状	寸法(縦×横)cm	備考
■第1回 平成24年4月28日(土)～6月17日(日)							
1	横山 大観	1868-1958	葉桜	大正初期	絹本・彩色・軸装	117.0×42.0	
2	横山 大観	1868-1958	釈迦	明治40年頃	絹本・彩色・軸装	117.2×50.0	寄託
3	横山 大観	1868-1958	赤壁	明治35年頃	絹本・彩色・軸装	123.5×48.2	
4	木村 武山	1876-1942	小楠公	明治36年頃	紙本・彩色・軸装	140.3×64.8	
5	下村 観山	1873-1930	納涼図	明治42年頃	絹本・彩色・軸装	84.0×50.0	
■第2回 6月19日(火)～8月12日(日)							
1	横山 大観	1868-1958	鹿島神宮	昭和3年	絹本・墨画彩色・軸装	149.0×57.0	
2	横山 大観	1868-1958	筑波山	昭和3年	絹本・墨画彩色・軸装	149.0×57.0	
3	菱田 春草	1874-1911	柴舟	明治33年	絹本・彩色・軸装	116.2×50.1	
4	下村 観山	1873-1930	雨中鷺	明治41年頃	紙本・墨画彩色・軸装	70.0×121.3	
5	木村 武山	1876-1942	立葵	大正9～10年頃	絹本・彩色・軸装	133.6×49.7	秋葉幸子氏寄贈
■第3回 8月14日(火)～10月8日(月・祝)							
1	横山 大観	1868-1958	飛泉	明治35年	絹本・彩色・軸装	125.3×41.2	No.2と対幅
2	菱田 春草	1874-1911	秋溪	明治35年	絹本・彩色・軸装	125.3×41.3	No.1と対幅
3	菱田 春草	1874-1911	菊慈童	明治34年	絹本・彩色・軸装	120.0×49.8	
4	木村 武山	1876-1942	日本武尊	明治39～40年	絹本・彩色・軸装	124.7×33.7	寄託
5	木村 武山	1876-1942	鷺図	大正3～4年頃	絹本・彩色・軸装	124.0×41.0	寄託

No.	作者名	生没年	作品名	制作年	材質・技法・形状	寸法(縦×横)cm	備考
■第4回		10月10日(水)～12月13日(木)					
1	横山 大観	1868-1958	月満山	昭和12年	絹本・墨画・軸装	65.4×99.3	
2	菱田 春草	1874-1911	猫に鳥	明治43年	紙本・彩色・屏風二曲 一双	各162.0 ×162.0	
3	木村 武山	1876-1942	黒猫	大正6年頃	絹本・彩色・軸装	127.2×41.5	大塚子之吉氏寄贈
■第5回		12月14日(金)～平成25年2月17日(日)					
1	岡倉 天心	1863-1913	日の出(画賛)	明治37年	絹本・彩色・額装	63.3×46.7	寄託
2	岡倉 天心	1863-1913	月(画賛)	明治37年	絹本・彩色・額装	48.5×35.8	寄託
3	岡倉 天心	1863-1913	ロバと人物	明治37年	絹本・彩色・額装	49.0×86.3	寄託
4	岡倉 天心	1863-1913	海辺の松	明治37年	絹本・彩色・額装	49.4×87.9	寄託
5	岡倉 天心	1863-1913	竹の図	明治37年	絹本・彩色・額装	91.6×24.0	寄託
6	岡倉 天心	1863-1913	山水の図	明治37年	絹本・彩色・額装	80.7×27.4	寄託
7	岡倉 天心	1863-1913	玉蓮	制作年不詳	紙本・墨画・額装	24.6×34.8	寄託
■第6回		2月19日(火)～4月26日(金)					
1	横山 大観	1868-1958	樹下美人	明治45年頃	絹本・彩色・軸装	123.0×51.0	
2	菱田 春草	1874-1911	普賢菩薩	明治35年頃	絹本・彩色・軸装	94.5×49.8	
3	下村 観山	1873-1930	高士観瀑	明治41年頃	絹本・彩色・軸装(対幅)	各142.2×55.3	
4	木村 武山	1876-1942	義家勿来関	明治40～41年頃	絹本・彩色・軸装	120.3×50.7	寄託

資料テーマ展示

天心及び五浦に関わりのあるテーマに関して調査・研究した内容を、収蔵資料や解説パネルにより紹介した。

- テーマ名** 古写真に見る六角堂
- 期 間** 平成24年4月1日(日)～12月28日(金)
- 内 容** 東日本大震災により津波で流失した六角堂は、平成24年4月17日に再建され、多方面から注目を集めている。当館では明治から昭和にいたる六角堂の写真を所蔵しており、これらの資料は六角堂の創建当時の姿の復元に利用されていることから、パネルにしてその歴史と変遷を紹介した。
また、撮影年代を昭和12年頃と特定できる写真を掲載した資料(昭和12年11月26日付け『いはらき』附録 特集「史の國 名勝の茨城」)を平成23年度に新たに収蔵することができた。この機会に展示し、新収蔵資料として紹介した。
- 展示資料** 『いはらき(昭和12年11月26日付け)』附録 特集「史の國 名勝の茨城」
写真 六角堂 6枚(明治年間～昭和38年、パネルに掲載して紹介)
- テーマ名** 岡倉天心邸書斎欄間絵
- 期 間** 平成25年1月2日(水)～
- 内 容** 岡倉天心邸は、現在、茨城大学五浦美術文化研究所内に残されているが、その遺構は天心が晩年の五浦で過ごした明治末から大正初めの頃に比べると、その後の改築や部分的な取り壊しによって小規模となっている。
当館の記念室に復元されている天心の書斎と基子夫人の居室には、当時、それぞれ、横山大観と菱田春草の筆による襖絵や袋戸絵などがはめられていたといわれている。しかし、現在ではその大半が失われてしまい、わずかに茨城大学に天心の書斎の付け書院のものと思われる欄間絵が残されているのみである。
天心生誕150年、没後100年を迎えるにあたり、往時を偲ばせるこの貴重な遺品を紹介した。
- 展示資料** 伝横山大観「天心邸欄間絵」明治38～41年頃 国立大学法人茨城大学蔵